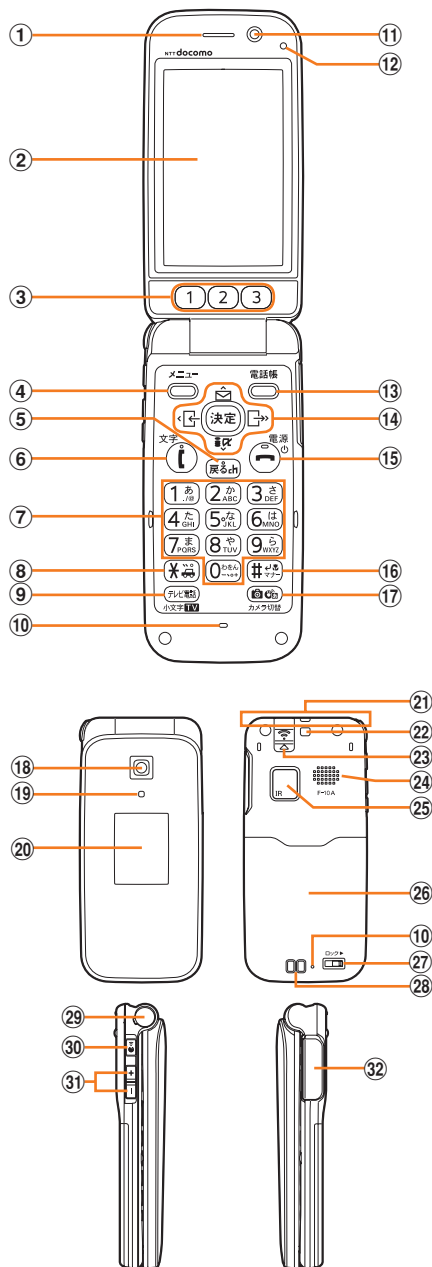
ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここでは、F-10Aの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

- 操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。

① **受話口**

相手の声がここから聞こえます。

② **ディスプレイ→p.27**

③ **1 2 3 ワンタッチダイヤルボタン1／2／3**

ワンタッチダイヤルを登録します。
1秒以上押すと登録した相手に電話をかけられます。

④ **メニュー メニューボタン**

メニューの表示、ガイド行の左側に表示される操作の実行に使います。
1秒以上押すとボイスメニューが使用できます。

⑤ **戻るch 戻る／chボタン**

文字の消去、1つ前の画面に戻る、iチャネル一覧の表示に使用します。
1秒以上押すと新着情報の表示を消去できます。

⑥ **開始／文字ボタン**

音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での通話切り替え、文字入力のモードや文字種の一覧を表示するときに使います。
1秒以上押すと留守番電話の伝言メッセージが再生できます。

⑦ **1～9 0 ダイヤルボタン**

電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択に使います。
1を1秒以上押すと現在地確認を行います。
待受画面や電話番号の入力画面で0を1秒以上押すと、「+」が入力されます。

⑧ **＊／公共モード（ドライブモード）ボタン**

「*」や「゛」「゜」などの入力に使います。
1秒以上押すと公共モードの設定／解除ができます。

⑨ **テレビ電話 テレビ電話／小文字／TVボタン**

テレビ電話をかける／受ける、大文字／小文字の切り替えに使います。
1秒以上押すとワンセグを視聴できます。

⑩ **マイク**

自分の声をここから伝えます。
※ マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が正常に録音されなくなったりする場合があります。
※ 背面のマイクは騒音カット用のため、お客様の声は拾いません。

⑪ **内側カメラ**

自分を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信したりするときに使います。

⑫ **光センサー**

画面の明るさを自動調整するときに使います。
※ 光センサーをふさぐと、照明設定の自動調整が正しく行えない場合があります。

⑬ **電話帳ボタン**

電話帳の表示、ガイド行の右側に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使います。
1秒以上押すと電話帳の音声検索ができます。

⑭ **マルチカーソルボタン（十字ボタン）**

決定ボタン
選択した操作の実行、便利ツールメニューの表示に使います。お知らせ情報があるときは、お知らせの内容を表示します。

メール／上ボタン
メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節（大）、新着メール受信後のメール一覧の表示に使います。
1秒以上押すとメール作成画面が表示されます。

ｉモード／ｉアプリ／下ボタン
ｉモードメニューの表示、カーソルの下方向への移動、音量の調節（小）、メッセージR/F受信後のメッセージ一覧の表示に使います。
1秒以上押すとｉアプリ一覧が表示されます。

着信履歴／左ボタン
着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（小）に使います。

リダイヤル／右ボタン
リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（大）に使います。

⑮ **終了／電源（⏻）ボタン**

通話や操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使います。
2秒以上押すと電源のON／OFFができます。

⑯ **＃／改行／マナーモードボタン**

「＃」の入力や改行、写真撮影時の接写切り替えに使います。
1秒以上押すとマナーモードの設定／解除ができます。

⑰ **カメラ／カメラ切替／音声入力ボタン**

写真撮影画面の起動、外側カメラと内側カメラの切り替え、メール作成時の音声入力に使います。
1秒以上押すとカメラメニューが表示されます。

⑱ **外側カメラ**

撮影したり、テレビ電話で映像を送信したりするときに使います。

⑲ **ランプ**

充電中や電話の着信時、メールの受信時、カメラの起動中などに点灯／点滅します。

⑳ **背面ディスプレイ**→p.30

㉑ **FOMAアンテナ**

※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉒ **ストラップ取付口**

㉓ **ワンタッチブザースイッチ**

ワンタッチブザーを鳴らすときに使います。
→p.359

㉔ **スピーカー**

着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声、ワンタッチブザーなどがここから聞こえます。

㉕ **赤外線ポート**

赤外線でデータを送受信するときに使います。

㉖ **リアカバー**

※ リアカバーを外して内蓋を開き、電池パックを取り外すと、microSDカードスロットがあります。→p.317

㉗ **リアカバーのレバー**→p.41

㉘ **充電端子**

㉙ **オープンアシストボタン**→p.26

㉚ **音声読み上げボタン**

背面ディスプレイの照明の点灯や表示の切り替え、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音・予定の通知の音声の停止に使います。

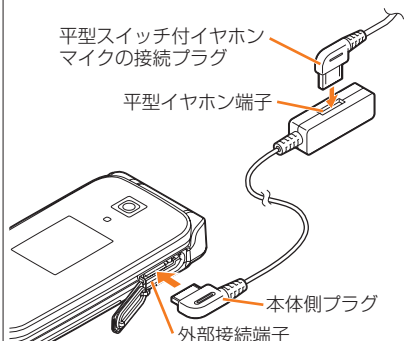
㉛ **音量ボタン**

背面ディスプレイの照明の点灯、各種音量や撮影時の明るさの調節などに使います。

㉜ **外部接続端子**

充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。→p.45、p.363
※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付 USB接続ケーブル、外部接続端子用イヤホン変換アダプタなどを接続できます。

〈イヤホンのご利用について〉
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

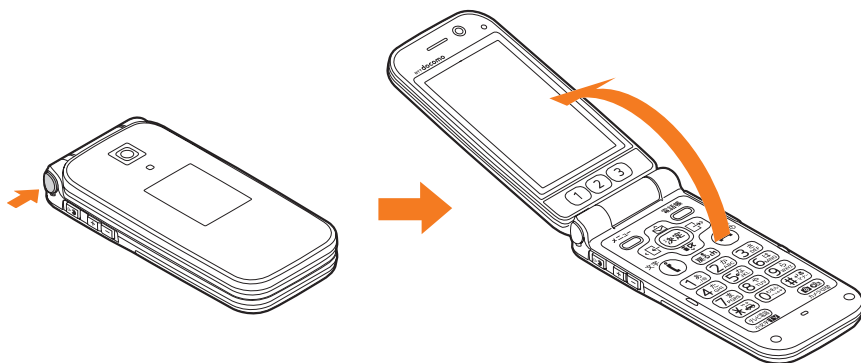
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

〈ワンセグアンテナについて〉
ワンセグアンテナは本体に内蔵されており、
FOMA端末全体がアンテナの役割をしています。
よりよい条件で受信するために、FOMA端末を
持ってワンセグ視聴をする場合は、手で覆う部分
が最小になるようにしてください。→p.257

ボタン操作でFOMA端末を開く

ボタン操作で簡単にFOMA端末を開くことができます。

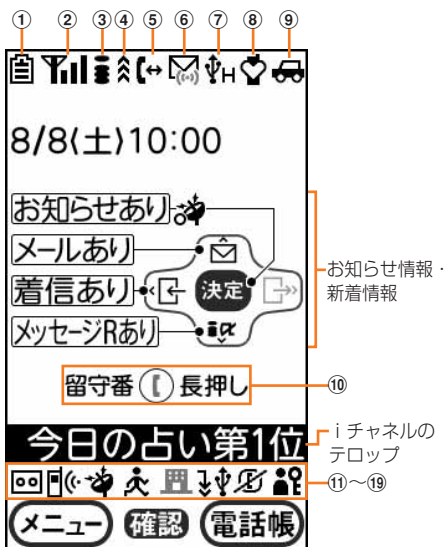
- オープンアシストボタンを使用しない場合でも、軽い力で簡単に開きます。

1 オープンアシストボタンを押す

FOMA端末が開きます。

お知らせ

- FOMA端末を手に持った状態で操作することをおすすめします。また、FOMA端末を開くときに自分の顔、人や物などに当てたり、開くときの反動でFOMA端末を落としたりしないようにご注意ください。
- FOMA端末の向きによっては、ボタンを押しても完全に開かない場合があります。
- FOMA端末を閉じる場合は、手で閉じてください。完全に閉じないときは、FOMA端末を完全に開いた状態にしてから、もう一度閉じてください。

ディスプレイの見かた

ここでは、ディスプレイに表示されるマークの説明をします。

① : 電池残量の表示→p.46

② /圏外: 受信レベルの表示→p.47

(3Gが黒)/(3Gが赤): 受信レベルとネットワークの状況表示→p.390

SELF: セルフモード中→p.126

: データ転送モード中※1/ドコモケータイdatalinkの使用中→p.315、p.329、p.403

※2
③ : iモード中、接続中→p.212

: SSLページ表示中→p.213

/: パソコンと接続してパケット通信中/データ送受信中→p.400

: オートスピーカーホン機能の設定中→p.72

※2
④ : 赤外線通信中→p.329

赤外線リモコン使用中→p.332

: シークレットモード中→p.126

⑤ : 音声電話中→p.60

: テレビ電話中→p.60

: 音声電話とテレビ電話の切り換え中→p.63

: 音声電話/テレビ電話切断中→p.60

64K: 64Kデータ通信中→p.400

: 音声読み上げ可能/音声読み上げ中→p.143

※2
⑥ : 未読エリアメール→p.191

: 未読iモードメール、SMSが満杯で、FOMAカードにSMSが満杯→p.169

(赤): 未読iモードメール、SMSが満杯→p.169

(赤): FOMAカードにSMSが満杯→p.196

(黒): 未読iモードメール、SMSあり→p.169、p.196

/: iアプリ/iアプリDX動作中→p.272

/: iアプリ/iアプリDX待受画面表示中→p.279

/: iアプリ/iアプリDX待受画面からiアプリ起動中→p.280

(黒)/(赤): 未読メッセージRあり/満杯→p.187、p.188

(黒)/(赤): 未読メッセージFあり/満杯→p.187、p.188

※3
⑦ : USBハンズフリー対応機器で通信中→p.70

: ワンタッチブザー有効→p.359

通信中: iモード中→p.212

取得中: iモーションデータ取得中→p.233

測位中: GPSで測位中→p.284

漢字かな/**半角カナ**/**英字**/**数字**/**全角かな**/**全角カナ**: 入力モードの表示→p.371

※3
⑧ : マナーモード中→p.111

SV: 音声電話のバイブレータと電話着信音量の消音を同時に設定中→p.108、p.109

V: 音声電話のバイブレータを設定中→p.109

S: 電話着信音量を消音に設定中→p.108

: i モードメール、SMSの受信中→p.169、p.196

※3
⑨ : 公共モード（ドライブモード）中→p.74

(黒)：FOMAカードを読み込み中→p.47

R: メッセージRの受信中→p.186

F: メッセージFの受信中→p.186

⑩ 留守番 長押し: 留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり→p.29、p.382

⑪ (黒)：伝言メモの設定中→p.75

: 未確認の伝言メモあり→p.75

(赤)：伝言メモが満杯→p.75

⑫ : 未確認の不在着信情報あり→p.65

⑬ : GPSで位置提供設定中→p.291

⑭ ／: 歩数計・活動量計の使用設定中／歩数計・活動量計の使用と自動送信メールを設定中→p.336、p.339

※2
⑮ (赤)： i モードセンターに i モードメールとメッセージR/Fが満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり→p.170、p.187

／／(すべて赤)： i モードセンターに i モードメールまたはメッセージR/F満杯→p.170、p.187

(黒)： i モードセンターに未受信の i モードメールとメッセージR/Fあり→p.170、p.187

／／(すべて黒)： i モードセンターに未受信の i モードメールまたはメッセージR/Fあり→p.170、p.187

ECO: 省電力モード設定中→p.116

⑯ : ソフトウェア更新の予約中→p.461

: microSDモード中（USB接続中でmicroSDカードあり）→p.328

: microSDモード中（USB接続中でmicroSDカードなし）→p.328

: microSDモード中（USB接続なしでmicroSDカードあり）→p.328

: microSDモード中（USB接続なしでmicroSDカードなし）→p.328

SD※4：microSDカードあり→p.317

⑰ ※5：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中→p.400

⑱ : ダイヤル発信制限中→p.128

※2
⑲ : 個人情報表示制限中→p.127

: 目覚まし設定中→p.352

: 予定を通知するように設定中→p.354

: 目覚ましと予定を通知するように設定中→p.352、p.354

※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になります。

※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。

※3 待受画面以外では時刻が表示されます。

※4 ⑰のアイコンが表示されているときは表示されません。

※5 ⑯のmicroSDモード中のアイコンが表示されているときは表示されません。

お知らせ情報・新着情報の表示

電話帳の自動更新の失敗や電話帳保存のお知らせ、パターンデータの自動更新の通知などがあると、待受画面でお知らせ情報として表示します。また、メールやメッセージR/Fの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージの録音があると、待受画面で新着情報としてお知らせします。

① 決定：表示されているアイコンにより次の通知が表示されます。

／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了→p.294

- オールロック中、おまかせロック中、開閉ロック中は、決定を押すと機能が利用できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

：書き換え予告マーク→p.457

：更新お知らせマーク→p.459

／：パターンデータの自動更新の通知→p.464

：電話帳の自動更新失敗→p.134

：ｉアプリ自動起動失敗→p.278

：圏内自動送信失敗メールあり→p.157

：電話帳保存のお知らせ→p.103

：画像自動保存失敗→p.112

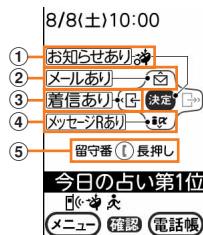
②：受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.173

③：着信履歴画面が表示されます。→p.64

- 「伝言あり」と表示された場合は、着信履歴画面で伝言メモを再生できます。

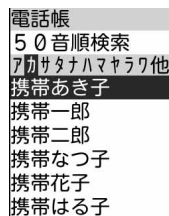
④：メッセージRまたはメッセージFの一覧が表示されます。→p.188

⑤を1秒以上：留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→p.382

- 戻るchを1秒以上：新着情報の表示を消します。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

ガイド行の表示

ガイド行には、メニュー、決定、電話帳を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。表示位置とボタンは、図のように対応しています。

本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（メニュー、決定、電話帳）を使って説明しています。

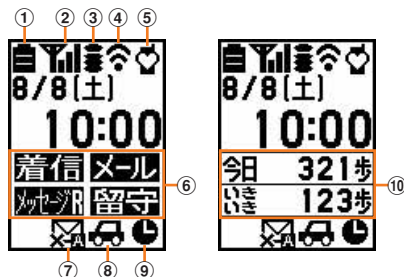
- ガイド行の◆は、マルチカーソルボタン（十字ボタン）の［メール］［iα］［←］［→］に対応しています。
- ガイド行の右側に「ガイド」と表示されているときに電話帳を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、電話帳または戻る/chを押します。

お知らせ

- ｉアプリの画面では、ガイド行に決定［メール］［iα］［←］［→］に対応する操作が表示されていなくても、これらのボタンを利用できる場合があります。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を閉じていても、設定されている機能やさまざまな情報を確認できます。

表示されるマーク一覧

① 電池残量の表示→p.46
② ／圏外：受信レベルの表示→p.47
　SELF：セルフモード中→p.126
　：データ転送モード中／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.315、p.329、p.403
③ ：ｉモード中、接続中→p.212
④ ／：ワンタッチブザー有効／利用不可状態→p.359、p.361
⑤※ ：マナーモード中→p.111
　：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.143
⑥ 新着情報→p.29
⑦ ：圏内、歩数計・活動量計の自動送信失敗メールあり→p.339
⑧ ：公共モード（ドライブモード）中→p.74

⑨ ◔：目覚まし設定中→p.352
　▤：予定を通知するように設定中→p.354
　▤：目覚ましと予定を通知するように設定中→p.352、p.354
⑩ 歩数の表示→p.336
※ 両方設定しているときは、マナーモード中のマークが表示されます。

主な表示

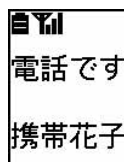
FOMA端末を閉じているときに、電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、状態を表示してお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 音声電話やテレビ電話の状態表示

着信中や通話中、応答保留中、切断中などの状態が表示されます。画面は音声電話がかかってきたときの例です。

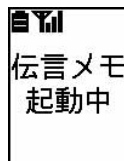
※ 背面ディスプレイ設定の「背面画面の着信表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示されません。→p.114

- 電話の受けかた→p.70

電話です
携帯花子

■ 伝言メモの状態表示

応答中や録音中に表示されます。画面は音声電話の伝言メモが応答中または録音中のときの例です。

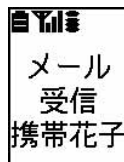
- 伝言メモ→p.75

伝言メモ
起動中

■ ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したとき

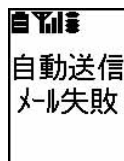
画面はｉモードメール受信完了のときの例です。

※ 背面ディスプレイ設定の「背面画面の着信表示を設定する」を「表示しない」に設定しているときは、メールを受信しても相手のメールアドレスや名前は表示されません。→p.114

- ｉモードメール受信→p.169
- SMS受信→p.196
- メッセージR/F受信→p.186

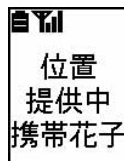
メール
受信
携帯花子

■ 圏内自動送信や歩数計・活動量計の自動送信に失敗したとき

- 圏内自動送信→p.157
- 歩数計・活動量計自動送信→p.339

自動送信
ﾒｰﾙ失敗

■ GPSの状態表示

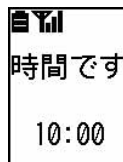
現在地確認中や現在地通知、位置提供中などの状態が表示されます。画面は位置提供中の例です。

- GPS→p.284

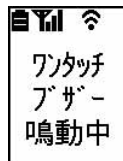
位置
提供中
携帯花子

■ **目覚まし時刻や予定を通知する日時になったとき**

画面は目覚まし時刻になったときの例です。

- 目覚まし→p.352
- 予定表→p.353

時間です
10:00

■ **ワンタッチブザーの状態表示**

画面はワンタッチブザー動作中のときの例です。

- ワンタッチブザー→p.359

※ この他にも、電池が切れそうなときやオールロック中、おまかせロック中、開閉ロック起動時、お知らせタイマーの状態を表示したり、ｉモード問い合わせやSMS問い合わせ、電話帳お預かりサービス（ケータイデータお預かりサービス）のお預かりセンターへの接続、音声録音、アルバム再生、メロディの再生、赤外線通信、データ通信を行ったときなどにも表示します。

表示の切り替え

背面ディスプレイ設定の「背面画面の時計表示を設定する」を「読上ボタンで切替」に設定している場合は、背面ディスプレイの照明が点灯しているときにを押すと、押すたびに時計表示が切り替わります。切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。

＜標準時計＞ ＜大きい時計＞ ＜アナログ時計＞

- FOMA端末を閉じると、背面ディスプレイの照明が点灯します。約15秒間何も操作しないと消灯しますが、のいずれかを押すと再度点灯します。また、背面ディスプレイ設定で「背面画面の照明を設定する」を「点灯する」に設定している場合は、FOMA端末を持ち上げて傾けると照明が点灯します。→p.114
  省電力モードを「設定する」に設定している場合は、背面ディスプレイの照明が消灯すると背面ディスプレイに何も表示されなくなります。→p.116
- 標準時計では、歩数計・活動量計設定を「利用する」に設定したときに歩数が表示されます。また、歩数と新着情報の両方の表示がある場合は、を押すと表示が切り替わります。
- 標準時計と大きい時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→p.117

お知らせ

- 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
- FOMA端末を閉じているときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
- アナログ時計の表示中はすべてのマークが表示されません。アナログ時計と大きい時計の表示中で、新着情報がある場合には一時的に標準時計に切り替わります。
- 電話着信時やメール受信時の相手の情報、アルバム再生中やメロディ再生中の題名が、全角で4文字、半角で8文字を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときは、[ボタン]を押します。

メニュー操作のしかた

待受画面で[メニュー]を押すと表示されるメニュー画面や、[メール]を押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタン（十字ボタン）を押す方法と、ダイヤルボタンを押す方法があります。本書では、操作の方法を主にダイヤルボタンを押す方法（ショートカット操作）で説明しています。

- 実行できる機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→p.406
- 各種ロック機能を設定している場合やFOMAカードを取り付けていない場合などに機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。
- メニュー形式選択でメニューのデザインを「タイル」に設定したときは、待受画面で[メニュー]を押すと表示される最初のメニューの項目名が本書での記載と異なります。また、マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能の選択方法も異なります。
- メニュー形式の選択とメニュー項目名について→p.115

マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能選択

リスト形式のメニューから機能を選択するとき

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面で[メニュー]を押す

メニュー画面が表示されます。

① ページ

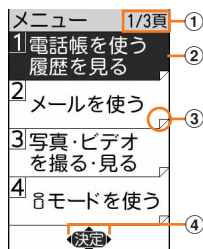
表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。

② カーソル

選択している機能の色が変わります。

③ 次の階層のメニューがあることを示します。

④ 表示中のメニュー画面に続きがある場合に表示されます。

続きを表示するときは、[メール][iα]を数回押してカーソルを移動するか、[←][→]を押して画面を切り替えます。

2 を押して「＊設定を行う」を選択▶決定を押す

「＊設定を行う」のメニュー画面が表示されます。

- ：カーソルが上の機能に移動します。
- ：カーソルが下の機能に移動します。
- ：前のページを表示します。
- ：後ろのページを表示します。

3 を押して「5ボタンを押した時の音を設定する」を選択▶決定を押す

ボタンを
押した時に音を
鳴らしますか？

1鳴らす
2鳴らさない

4 を押して「1鳴らす」または「2鳴らさない」を選択▶決定を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

5 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- を押すと待受画面に戻ります。

タイル形式のメニューから機能を選択するとき

1 待受画面でメニューを押す

メニュー画面が表示されます。

タイル（アイコン）　タイル（文字）

2 [下][左]を押して「設定」を選択▶[決定]を押す

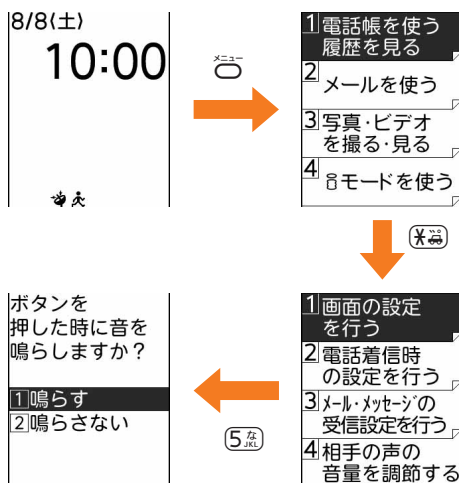
- [上]：カーソルが上の機能に移動します。
- [下]：カーソルが下の機能に移動します。
- [左]：カーソルが左の機能に移動します。
- [右]：カーソルが右の機能に移動します。

ダイヤルボタンでの機能選択〈ショートカット操作〉

各メニューや項目に番号や記号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルボタン（[1]～[9]、[0]）や[*]、[#]を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。

- メニュー形式が「タイル（アイコン）」の場合は、各メニュー番号や記号が表示されていませんが、「タイル（文字）」と同様のショートカット操作ができます。

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面で[メニュー]▶「[*]設定を行う」▶「[5]ボタンを押した時の音を設定する」を押す

2 「[1]鳴らす」または「[2]鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。

- [1]または[2]を押して選択します。

3 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

- [終話]を押すと待受画面に戻ります。

待受画面や1つ前の画面に戻るには

機能を選択した後で、1つ前の画面や待受画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る/ch：1つ前の画面に戻ります。

：待受画面に戻ります。

前後のページや項目を表示するには

メニューや選択項目が複数ページにわたる場合は、ガイド行の表示に従って、次の操作で前後のページや項目を表示します。

- ガイド行に が表示されている場合は、カーソル位置のメニューや項目の上下に項目があることを示しています。を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目でを押すと次のページまたは最初のページが、ページの先頭の項目でを押すと前のページまたは最後のページが表示されます。
- ガイド行にが表示されている場合は、前後のページまたはカーソル位置の項目の左右に項目があることを示しています。を押してカーソルを移動します。前後のページがあるときは、を押すと前のページまたは最後のページが、を押すと次のページまたは最初のページが表示されます。

  画面によっては、メニューで前のページを、電話帳で次のページを表示できます。

サブメニューからの機能選択

ガイド行の左側に「メニュー」が表示されているときは、メニューを押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示する

1 待受画面でを1秒以上押す

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1切替える」を押します。

2 メニューを押す

サブメニューが表示されます。

- サブメニューは、操作する画面により異なります。

1送信する
2保存する
3署名付きで送信
4添付データ
5電話帳を呼出す
6例文を使う
7宛先を追加
8宛先を削除
9宛先種別を変更
戻る 決定

カーソル：選択している機能の色が変わります。

3 ダイヤルボタンを押す

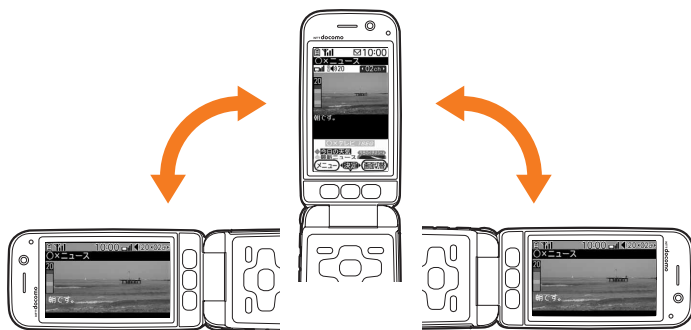
機能が実行されます。

- 利用する機能の左側に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押します。
- サブメニュー表示中にメニューを押すと、サブメニューが閉じます。
- メール iαを押して利用する機能を選択し、決定を押しても機能を実行できます。

オートローテーション設定

画面の縦表示と横表示を自動で切り替える

ワンセグの視聴や動画／ｉモーションの再生中に、FOMA端末を左に90度、または右に90度傾けると、傾きに合わせて画面の縦横や表示サイズが自動的に切り替わります。

・アルバム再生、着信音設定やメール添付時の内容確認の再生では切り替わりません。

1 待受画面でメニュー▶「＊設定を行う」▶「＊その他の設定を行う」▶「0画面の縦横を自動で切替える」を押す

画面の縦横を
自動で
切替えますか？
1切替える
2切替えない

2 「1切替える」または「2切替えない」を押す

画面の縦横を自動で切り替える／切り替えないに設定した旨のメッセージが表示されます。
決定を押すとメニュー画面に戻ります。

FOMAカードを使う

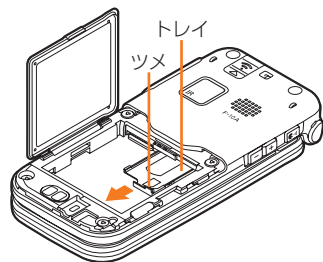
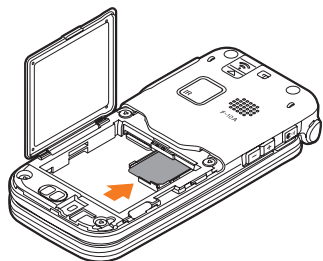
FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録しているカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

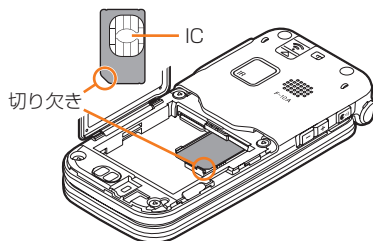
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合やFOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

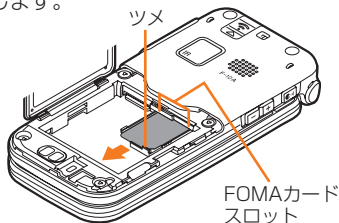
取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、外側カメラや背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→p.40

■ 取り付けかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。

②IC面を下にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せます。

③トレイを奥まで押し込みます。

■ 取り外しかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを取り外します。

お知らせ

- FOMAカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、FOMAカードは取り外した状態で行ってください。

暗証番号

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→p.120
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.122

FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカードのセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルには自動的にFOMAカードのセキュリティ機能が設定されます。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り付けていない場合、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されているデータやファイルは、赤外線通信やmicroSDカードへのコピーや移動ができません。
- FOMAカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ
  - 画面メモ
  - ｉモードメール添付のデータ、メール本文中に貼り付けられている画像
  - メッセージR/F
  - 画像（GIFアニメーション、Flash画像、電話帳お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、メロディ
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面のｉアプリを含む）
  - 着うた®

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリの「健康生活日記」「地図アプリforらくらくホン」「メモ」「Gガイド番組表」を最新にした場合は、FOMAカードのセキュリティ機能は設定されません。
- FOMAカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを待受画面や着信音などに設定しているときに、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定はお買い上げ時の状態に戻ります。FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたときのFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを使用して入手したデータや、内蔵のカメラで撮影した写真やビデオには、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されません。
- 次のメニューの設定項目にはFOMAカードに保存されるものがあります。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→p.406

- 自分の電話番号を見る
- SMSを設定する
- 証明書の表示と使用を設定する
- FOMAカードのPINコードを設定する
- 優先ネットワーク設定

FOMAカードの種類

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	p.89
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	p.231
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	p.388
サービスダイヤル	利用不可	利用可	p.385

WORLD WING

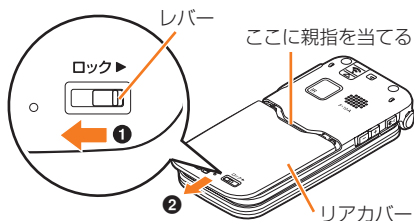
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモの国際ローミングサービスです。
なお、F-10Aはドコモの3Gローミングサービスエリアでのみご利用いただけます。GSMサービスエリアでご利用される場合は、GSM対応端末に差し替えることによりご利用いただけます。

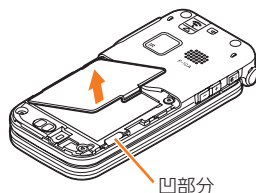
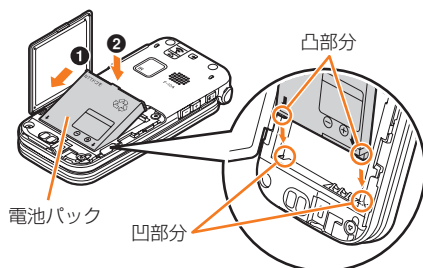
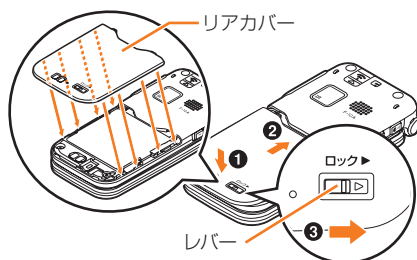
※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。
※ 万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

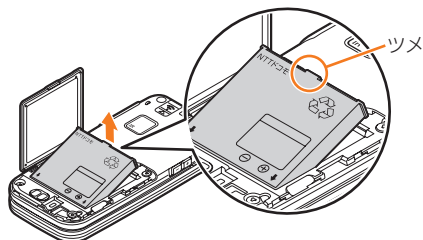
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

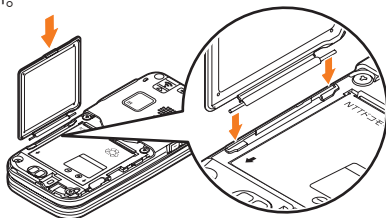
- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、外側カメラや背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 電池パックを取り外すとソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り付けかた

①リアカバーのレバーを❶の方向にスライドさせてロックを外した後、親指でリアカバーを押しながら、❷の方向に約2mmスライドさせて外します。

※リアカバーがスライドしにくい場合は、FOMA端末を持って、両方の親指でリアカバーをスライドさせてください。

②凹部分に指を掛けて、内蓋を矢印方向に持ち上げて止まる位置まで開きます。
※内蓋は、防水／防塵性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

③電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

④リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを❸の方向にスライドさせてロックします。

■ 取り外しかた

①取り付けかたの操作①～②を行います。
②電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。

リアカバーの内蓋が外れたときは

内蓋を止まる位置を過ぎて開けるなど、無理な力を加えた場合には、破損防止のために内蓋が外れる構造になっています。
外れた場合は、内蓋の金具部分を、FOMA端末のミゾに垂直になるように合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- 水濡れや粉塵の侵入を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてレバーでロックしてください。
- 内蓋のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F-10Aの性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF09をお使いください。

充電時間（目安）

電源を切って電池パックを空の状態から充電した場合の充電時間の目安は次のとおりです。電源を入れたまま充電した場合などは、この時間より長くなります。
また、FOMA端末を開いた状態のときや通話中、通信中は充電時間が長くなる場合があります。充電を早く完了させるには、操作を終了し、FOMA端末を閉じてから充電することをおすすめします。

ACアダプタ	約140分	DCアダプタ	約140分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用時間は充電のしかたや使用環境によって変動します。
連続待受時間および連続通話時間について→p.468

連続待受時間	**FOMA／3G**	静止時：約500時間 移動時：約370時間
連続通話時間	**FOMA／3G**	音声電話時：約160分 テレビ電話時：約110分
ワンセグ視聴時間		約270分（省電力モード時：約320分）

- 連続待受時間とは、F-10Aを閉じて電波を正常に受信できる状態での目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になったり、ワンセグの視聴時間が短くなる場合があります。また、ｉモード通信を行うと通話や通信、待受時間は短くなります。通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールの作成、音声読み上げ、動画／ｉモーションの再生、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、カメラの使用、ワンセグの視聴、歩数計・活動量計の利用、マルチアクセスの実行、データ通信などをしたりすることによっても、通話や通信、待受時間は短くなります。

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間利用すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

充電について

- 詳細は、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

充電時の留意事項

- 充電を開始するとランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にランプがすぐに点灯しない場合がありますが故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダなどから外してもう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中に通話や通信、その他機能の操作を長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中にカメラを利用すると、ランプが消灯したり、点滅したりしますが故障ではありません。カメラを終了すると点灯します。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、充電開始音や完了音は鳴りません。

卓上ホルダと組み合わせた充電方法

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と卓上ホルダF30を組み合わせて充電できます。

- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。
- 正しく取り付けるために、FOMA端末を閉じた状態で卓上ホルダに差し込んでください。また、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

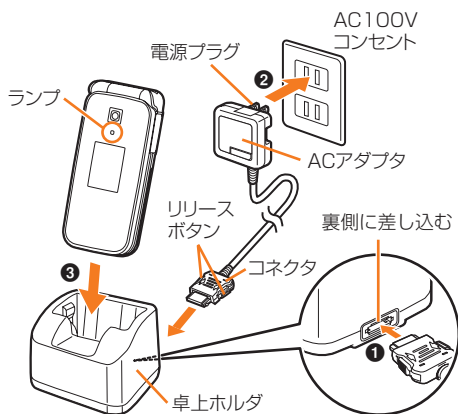
① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダに水平に差し込みます（❶）。

② ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❷）。

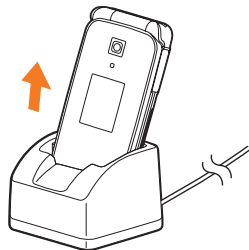
③ 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダにしっかりと差し込みます（❸）。

④ 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、背面ディスプレイの電池マークが点滅します。

⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、背面ディスプレイの電池マークの点滅が止まります。

⑥ FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。

取り外しかた

卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ、矢印方向に引き抜きます。

- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

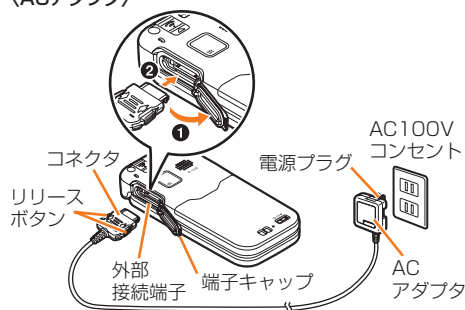
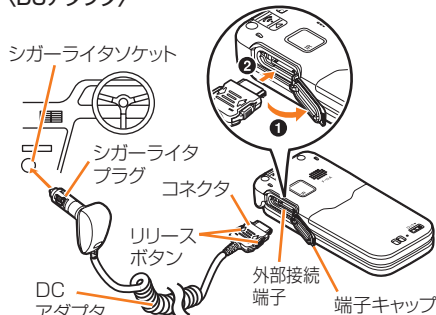
- ACアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

ACアダプタ／DCアダプタでの充電方法

- 必ずFOMA ACアダプタ 01／02（別売）またはFOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書もご覧ください。

① FOMA端末に電池パックを取り付けます。

② FOMA端末のリアカバーがある面を上にした状態で、外部接続端子の端子キャップを❶の方向に開き、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA端末と水平に差し込みます（❷）。

③ ACアダプタの場合は電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます。DCアダプタの場合はシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。

〈ACアダプタ〉　〈DCアダプタ〉

④ 充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、電池マークが点滅します。

⑤ 充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプが消灯し、電池マークの点滅が止まります。

⑥ ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜きます。DCアダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜きます。

⑦ コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から水平にコネクタを外し、端子キャップを閉じます。

お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量

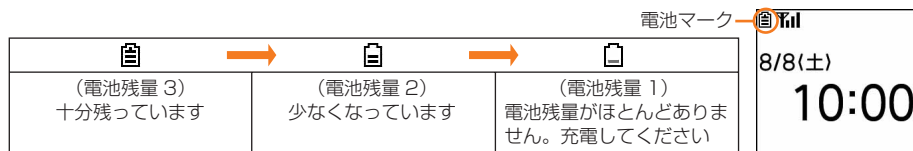
電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池マークで、電池残量の目安が確認できます。

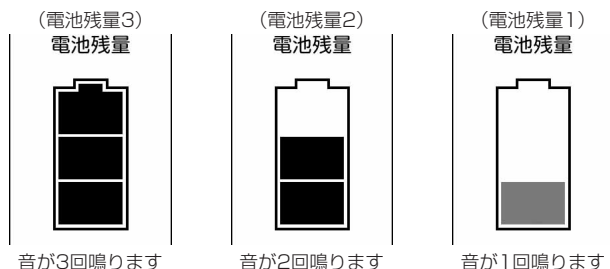
• FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

→	→	
（電池残量 3） 十分残っています	（電池残量 2） 少なくなっています	（電池残量 1） 電池残量がほとんどありません。充電してください

電池マーク

8/8(土)
10:00

電池残量の確認

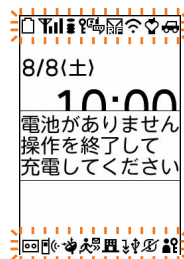
1 **待受画面で メニュー ▶「* 設定を行う」▶「* その他の設定を行う」▶「7 情報の表示やリセットを行う」▶「5 電池残量を確認する」を押す**

電池残量が表示され、しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

• を押すと待受画面に戻ります。

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すると電池残量警告音は止まりますが、すぐに電池残量警告音を止める場合は を押します。

■ **音声電話中のとき**

受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは 決定 戻る のいずれかを押すと消えます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、右の画面が表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。

■ **待受中のとき**

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは 決定 戻る のいずれかを押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴り、右の画面が表示され、すべてのマークが点滅します。その約1分後に自動的に電源が切れます。

• FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池残量警告音の消しかた

1 待受画面でメニュー▶「[*]設定を行う」▶「[*]その他の設定を行う」▶「[5]音を設定する」▶「[2]電池残量の警告を音で通知する」を押す

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[2]鳴らさない」を押す

電池残量警告音を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「[1]鳴らす」：電池残量警告音を鳴らします。

お知らせ

- 本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。
- 本機能を「鳴らす」に設定しても、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は電池残量警告音は鳴りません。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

- ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→p.455

電源を入れる

1 を2秒以上押す

バイブレータが1回振動し、しばらくすると防水確認のメッセージが表示され、次の待受画面が表示されます。

- を2秒以上押し続けなくても、数回続けて押した場合にも電源が入ることがあります。
- 初めて電源を入れたとき→p.48

- 電波の受信レベルの目安が確認できます。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに受信レベルが表示されます。

電源を切る

1 **を2秒以上押す**

バイブレータが2回振動し、終了している旨のメッセージが表示された後、電源が切れます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届かない所で圏外が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。
- FOMAカードを取り付けていない場合は、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→p.38
- FOMAカードを差し替えた場合は、電源を入れた後に端末暗証番号の入力を行う必要があります。正しい端末暗証番号を入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。
- PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→p.121
- 日付・時刻が設定されていないときは、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。→p.51
- FOMA端末を開いたまま何も操作しないでいると、約1分でディスプレイが暗くなり、その約4分後、さらに暗くなります（ディスプレイの照明設定で「さらに暗く設定」を設定した場合を除く）。約30分が経過すると、ディスプレイに何も表示されなくなります（省電力）。省電力モード設定が「設定する」のときは、約1分間でディスプレイに何も表示されなくなります。→p.116
  ディスプレイに何も表示されない状態のときは、決定が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。音声電話中でも同様に省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあったりすると、ディスプレイは再び表示されます。

初めて電源を入れたときは

確認画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。設定した内容は後から変更できます。

- データ一括削除の再起動後も、同様に設定画面が表示されます。

1 **携帯電話を使う前の準備を始める旨の確認画面で決定を押す**

2 **音声読み上げの設定画面で「1自動で読み上げ」～「4後で設定する」のいずれかを押す**

- 音声読み上げの設定→p.143
- 「4後で設定する」を押し、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び設定画面が表示されます。

音声読み上げを
設定してください

1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし
4後で設定する

3 メニュー形式の選択画面で「1リスト」～「3タイル（文字）」のいずれかを押す

- メニュー形式の選択→p.115
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

メニュー形式を
選んでください
1リスト
2タイル(ｱｲｺﾝ)
3タイル(文字)

4 文字の書体の選択画面で「1丸ゴシック体」または「2教科書体」を押す

- 文字の種類の選択→p.117
- データ一括削除の再起動時は表示されません。

文字の書体を
選んでください
1丸ゴシック体
2教科書体
あア亜Ａｐ１＠
ｱｲｳAp123@/

5 日付・時刻の設定画面で決定を押す

- 日付時刻設定の概要と設定→p.51
- 圏外などでドコモのネットワークからの時刻情報を取得できず、日付・時刻が設定されなかった場合に表示されます。

日付と時刻を
設定してください

6 端末暗証番号変更画面で「1変更する」を押す

- 端末暗証番号変更→p.121
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

暗証番号の
初期設定は
「0000」です。
暗証番号を
変更しますか？
1変更する
2変更しない

7 位置提供機能の設定画面で 決定 ▶端末暗証番号を入力▶ 決定 ▶「1受信する」または「2受信しない」を押す

- GPSの位置提供→p.291
- 操作6で端末暗証番号を変更した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

位置の検索要求を
受信しますか？

1受信する
2受信しない

8 歩数計・活動量計の設定画面で 決定 を押す

- 歩数計・活動量計の概要と設定→p.336
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

歩数計/活動量計
を設定します。
歩数計/活動量計
の測定値は
目安として
ご利用ください

9 視聴地域選択の画面で「1一覧から選ぶ」または「2地域指定で検索」を押す

- 視聴地域の登録→p.257
- 次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

視聴地域が登録
されていません。
視聴地域の
登録方法を
選んでください

1一覧から選ぶ
2地域指定で検索

10 ワンタッチブザーを有効にするかどうかの確認画面で「1有効にする」～「3後で設定する」のいずれかを押す

- ワンタッチブザーの設定→p.359
- 「3後で設定する」を押し、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合は、再び確認画面が表示されます。

ﾜﾝﾀｯﾁﾌﾞｻﾞｰを
有効にしますか？
ﾏﾅｰﾓｰﾄﾞ設定中も
ﾌﾞｻﾞｰが鳴ります

1有効にする
2無効にする
3後で設定する

11 ソフトウェア更新の確認画面で 決定 を押す

- ソフトウェア更新の概要と設定→p.455、p.460

Welcomeメールを確認する

「はじめまして」」「緊急速報「エリアメール」のご案内」「活動量計のご紹介」のメールが保存されています。待受画面にはが表示され、新着情報では未読メールがあることをお知らせします。

1 **待受画面で を押す**

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

- 受信メールの表示→p.173

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、日付・時刻を手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。
海外で「自動で設定する」を選択した場合、利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。
また、海外で利用する場合は、手動で時差を設定したり、サマータイムに合わせたりすることもできます。→p.395

〈例〉手動で日付・時刻を設定する

1 **待受画面で メニュー ▶「＊設定を行う」▶「8時計を設定する」▶「1日付と時刻を設定する」を押す**

日付と時刻を自動で設定しますか？
1自動で設定する
2手動で設定する

2 **「2手動で設定する」を押す**

■ 自動で時刻補正をする：「1自動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

3 **「1日時」を押す**

4 日付を入力する

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- ：選択位置を変更できます。
- ：日付と時刻の入力を切り替えます。

日付と時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)

日付
2009年08月08日
時刻
10時00分

5 時刻を入力する

- 24時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
- ：選択位置を変更できます。
- ：日付と時刻の入力を切り替えます。

6 決定▶電話帳を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で設定する」に設定すると、電源を入れたときに自動で時刻や時差の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。また、ｉアプリによっては、動作中に補正できない場合があります。
- 「自動で設定する」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 時差補正が行われた場合にはその旨のメッセージが表示されます。
- 海外で時刻や時差の補正が行われた後は、発着信やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
- 海外通信事業者のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。→p.395
- 「手動で設定する」で日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度設定を行ってください。
- ｉアプリ起動中に日付・時刻を手動で設定しようとすると、ｉアプリを終了させて日付・時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。「終了する」を押すと、ｉアプリが終了し、日付・時刻が設定されます。
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は使用できません。
  - ユーザ証明書の操作
  - 再生期限制限や再生期間制限が設定されているｉモーションの取得、再生
  - 時刻設定による起動制限があるｉアプリDX、ｉアプリの自動起動
  - 自動電源ON設定、自動電源OFF設定
  - 通知時刻自動電源ON設定
  - 目覚まし、予定表
  - 赤外線での予定表の送受信
  - ソフトウェア更新
  - スキャン機能のパターンデータ更新
  - ワンセグ視聴予約
  - 歩数計・活動量計の履歴の記録

- 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 伝言メモ
  - カメラで撮影した写真やビデオの保存日時（データ名）
  - 送信メール、未送信メールの日時
  - GPSの位置履歴
  - 通話メモ

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
- 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→p.66

1 **待受画面で メニュー ▶「＊設定を行う」▶「＊その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「1発信者番号通知を設定する」を押す**

2 **「1通知する」を押す**

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

設定内容の確認

1 **待受画面で メニュー ▶「＊設定を行う」▶「＊その他の設定を行う」▶「1発信者番号通知を使う」▶「2発信者番号通知設定を確認する」を押す**

2 **「1確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

発信者番号通知の優先順位

複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。

①相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合

②発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合

③発信者番号通知の設定をした場合

個人情報表示

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した個人情報を確認します。

1 待受画面でメニュー▶「0自分の電話番号を見る」を押す

■ メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合：「1登録する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

メールアドレスを取得して登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、個人情報（基本）画面が表示されます。

- 「2登録しない」を選択すると、個人情報（基本）画面が表示されます。これ以降は、メールアドレスが登録されていない場合でも自動取得の確認画面は表示されなくなります。

■ 詳細情報を確認する：個人情報（基本）画面で決定▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

個人情報（詳細）画面が表示されます。

- 直前にメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。
- ◁｜▷：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。
- 決定：個人情報（基本）画面と個人情報（詳細）画面を切り替えます。

個人情報(基本)
名称未登録
090XXXXXXXX

2 戻るchを押す

メニュー画面に戻ります。

個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレス、住所、テキストメモなどが登録できます。

- 電話番号は自局電話番号を除き最大2件、メールアドレスは最大3件登録できます。
- お客様のメールアドレスの確認方法→p.152

1 待受画面でメニュー▶「0自分の電話番号を見る」を押す

- メールアドレスを自動で取得する→p.54「■メールアドレスの自動取得の確認画面が表示された場合」

2 電話帳▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

- 操作1でメールアドレスを自動取得した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

個人情報登録
名前を
入力してください

3 名前を入力▶決定を押す

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。

- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

個人情報登録
ドコモ太郎

フリガナを
入力してください
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ

4 フリガナを確認または修正▶決定を押す

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角32文字以内で入力します。半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。

5 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：自局電話番号以外の電話番号を登録します。
- 「2入力しない」：自局電話番号以外の電話番号を登録しません。操作8に進みます。

6 電話番号を入力▶決定を押す

3件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 最大26桁入力できます。

7 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：他の電話番号を登録します。操作6の後に操作8に進みます。
- 「2入力しない」：他の電話番号を登録しません。

8 「1自動で取得する」～「3入力しない」のいずれかを押す

- 「1自動で取得する」：自動でメールアドレスを取得します。メールアドレスを取得した旨のメッセージが表示されたら決定を押します。操作10に進みます。
- 「2直接入力する」：メールアドレスを直接入力して登録します。
- 「3入力しない」：メールアドレスを登録しません。操作11に進みます。

9 メールアドレスを入力▶決定を押す

2件目（または3件目）のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

- 半角50文字以内で入力します。半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 英字入力モード時に1：「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。
- 英字入力モード時に＊：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。
- 何も入力しないで決定を押すと、メールアドレスを登録しません。操作11に進みます。

10 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：他のメールアドレスを登録します。操作9の後に操作11に進みます。
- 「2入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

11 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：郵便番号と住所を登録します。
- 「2入力しない」：郵便番号と住所を登録しません。操作13に進みます。

12 郵便番号を入力▶決定▶住所を入力▶決定を押す

- 郵便番号は最大7桁入力できます。
- 住所は全角100文字、半角200文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

13 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」：テキストメモを登録します。
- 「2入力しない」：テキストメモを登録しません。操作15に進みます。

14 テキストメモを入力▶決定を押す

個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。

- 全角100文字、半角200文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

15 決定を押す

個人情報（基本）画面に戻ります。

お知らせ

- お客様のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）はFOMAカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目はFOMA端末に記録されます。
- 個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。→p.152
- 個人情報（詳細）画面で電話帳を押しても個人情報の登録・修正ができます。また、個人情報（詳細）画面のサブメニューから個人情報を利用したり、GPS機能を利用して位置情報を登録したりできます。
- 赤外線通信を利用して個人情報を赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。→p.329